

対カンボジア無償資金協力「スバイリエン州病院改善計画」完成式典

10月12日（木）、我が国の無償資金協力による「スバイリエン州病院改善計画」の完成式典がスバイリエン州で開催されました。

スバイリエン州病院は、長年日本政府が支援を行ってきた南部経済回廊の一部であるスバイリエン州の州都に位置し、同州最高水準の病院として1959年に建設されました。しかし近年はカンボジアの人口増加に伴う患者数増加により病床占有率は常時100%を超え、建設当時から50年以上が経過した施設の老朽化、恒常的な医療機材不足に悩まされるなど、深刻な状況にありました。

本プロジェクトでは、新たに病棟の建設、医療機材の整備及び既存施設の改修が実施され、スバイリエン州及び周辺地域における保健医療状況の改善に寄与することが期待されています。

完成式典では、堀之内大使がカンボジア語でスピーチを行い「本プロジェクトにより整備された新病棟や医療機器が長きにわたり活用され、スバイリエン州の医療サービス向上に大きく貢献するとともに州の皆様から喜んで頂ける病院になることを心から願っている。」旨述べ、続いてモム・ブンヘン保健相から「日本の支援で出来た最新式の病院が開院することで、同州のキャパシティが強化され、現地の医療スタッフと医療学生たちを育成することが可能となった。保健省を代表し、最新式の機材を備えた新病棟を寄付して下さった日本政府に深く感謝する。」旨述べられました。

最期に、マエン・ビボル州知事、モム・ブンヘン保健相及び堀之内大使によるリボンカットを行った後、新設された病棟内を視察し式典は終了しました。



写真1 堀之内大使のスピーチ



写真2 リボンカットの様子



写真3 病院の外観

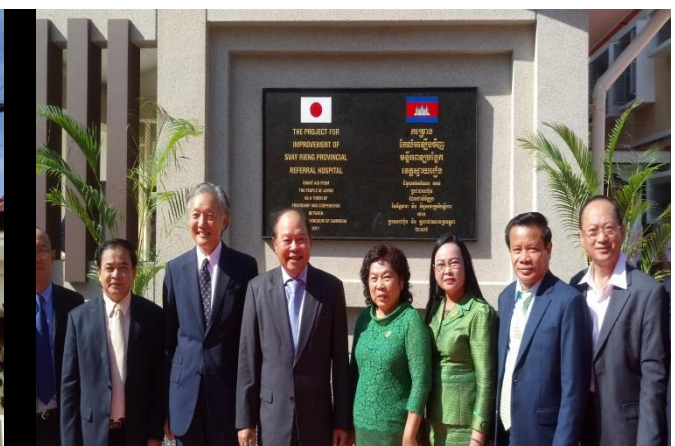


写真4 記念碑前で保健大臣と共に